

第 25 期日本学術会議新規会員任命拒否に対する声明

2020 年 10 月 11 日

日本都市社会学会理事会

第 25 期日本学術会議新規会員任命に際し、日本学術会議が推薦した 105 名の会員候補者のうち 6 名を内閣総理大臣が任命しなかった。その理由について、政府は「総合的、俯瞰的な活動を確保する観点から、今回の任命についても判断した」と述べている。しかしながら、学術会議が推薦した候補者が、そのような意味で広い視野にたってバランスのとれた行動がとれないと判断できる根拠はないと考える。このような恣意的な判断で政府が学術会議の推薦を尊重しないことは、政府と学術との円滑な協力関係を毀損するだけでなく、ひいては自由な学問研究を萎縮させ、そこから受ける国民の恩恵を著しく阻害するものである。

日本都市社会学会理事会は、異質なものを受け入れることで、つねにイノベーター的な創造性を生み出してきた「都市」を研究する者として、このような内閣総理大臣の恣意的な判断は国民の権利を侵すものであると考え、6 名の会員候補者の即時任命を求める。